

廣島經濟大學
廣報

- 2面 海外で活躍する興動館プロジェクト
- 3面 祇園・興動祭開催
- 4面 インタビュー：学体験談
- 5面 留学期体験記／披露イベント／コンサート海外で支援活動
- 6面 前期学位記授与式／挙行／経大祭開催
- 7面 多彩な公務員受験サポートプログラム
- 8面 平成23年度推薦入試結果報告

- 599 -

海外活動で高まる人間力

興動館プロジェクト成果報告

学生が社会に飛び出し、実践を通して「人間力」を養う「興動館プロジェクト」がスタートして、今年で5年目。現在、17のプロジェクトが国際交流や社会貢献をテーマに多様な取り組みにチャレンジしている。ここでは、海外を舞台に活動する3つのプロジェクトの近況を紹介する。

年2度の現地活動で成果

インドネシア国際貢献プロジェクト



日本語の授業を行うメンバーたち

を実施。自分たちで作成した教材で、日本語の単語や発音を教えた。授業中、子どもたちが飽きないよう、現地で人気の高いドレームの歌を日本語と一緒に歌うといった工夫をした。また、高校を訪問し、日本の料理や観光名所などを紹介した。

「現地の小学生や高校生が真剣に授業を聞き、日本を理解しようとしてくれて、うれしかった」と井川さんは語る。

一方、ビジネス活動ではメンバーがデザインしたキーケースやブレスレット、ベルトを現地の革製品の工房に発注した。また、店を回り、カレンダーや財布といった雑貨の買い付けを行った。

8月20日から9月3日まで、2度目の渡航では、春と秋の2回、現地での支援活動として、教育活動とビジネス活動を行った。3月14日から24日までの渡航では、小学校で日本語の授業

インドネシアで、「スポーツ・文化交流」「教育活動」「ビジネス活動」をコンセプトに国際貢献することを目的としたこのプロジェクトは、今年で5年目を迎えた。平成22年は「インドネシアの子どものための学芸会を高める」という目標を掲げ、3月と8月にジョグジャカルタで活動を行った。

昨年まで現地の支援活動は年に一度だったが、今年からは二度だった。その理由を、プロジェクトリーダーの井川大地さん（ビジネス



ビジネス活動として新しい商品を検討するメンバーたち

ポストカードをつくってもらったほか、原爆の恐ろしさや平和の大切さを伝える授業などを行った。

「3月と8月に渡航したことで現地の子どもたちに顔を覚えてもらえ、より密な関係を築くことができたと思います。また、ビジネス活動では春に調達した商品が好評で、売れたので、夏には商品のオーダー数を3〜5倍に増やしました。活動を素早く展開できるようになったのもよかったです。」

村人と力合わせ森づくり

中国植林プロジェクト



植林作業の様子

過放牧・過開墾などで沙漠化が進む中国・内モンゴル自治区で植林に取り組みプロジェクトの活動は、今年4年目に入った。1、2年目は、ボランティア団体より、カンチカからバスでも、一時間ほどのところにあるボトンアイリ村に「広島経済大学の森」を設け、独自の植林活動をスタートさせた。

今年5人のメンバーが8月4日から8月14日まで滞在して、現地の人々と一緒に2日間マツ、ニレ各150本を植えた。初日は



ボトンアイリ村に設置した「広島経済大学の森」

「成長した苗木を見たときは、うれしかった。でも、苗木の周囲に雑草が生い茂っていたため、ゆつくり育んでいる暇はありませんでした。メンバーはすぐに雑草の除去に当たりかけたという。プロジェクトのメンバーが現地滞在中は、苗木の管理や雑草の除去などに、村の人々の協力が欠かせない。かといって村の人たちと連携を図っていくのは大きな課題といえる。

「現在、村の人々とは通訳を介して話をしているとありますが、自分たちのことを一つひとつ積み重ねて課題をクリアしていきたい」と中本さんは抱負を語った。



幻想的な風景に感嘆の声

～クリスマスイルミネーション点灯～

11月25日、興動館において、6回目のイルミネーション点灯式が、興動館プロジェクトメンバー有志により開催された。

小さなお子様連れの家族をはじめ、学生教職員ら約300人が集まった中庭には、約8000個のイルミネーションがカウントダウンとともに点灯。今年も色とりどりの輝きを魅せたその幻想的な風景に、感嘆の声が上がった。

随想

私の専門はアメリカの宗教史である。この分野の研究の面白さは、今日私たちがメディアを通じて知っている一見世俗的なアメリカ文化を、その「深い」部分において理解できることである。

アメリカ文化の「深い話」?

「福音派」と呼ばれる集合で、聴衆の感情に直接訴えかけ、彼らの心をつかみ、信者を増やしている。その過程で彼らは、入念な前宣伝、音楽の使用、役者ぶりの演技など、「新手法(New Method)」を編み出した。「新手法」は劇的な効果を生み、聴衆は興奮し、涙を流し、叫んだ。リバイバルの盛り上がり方は、現代のロック（ヒップホップ?）コンサートとそれほど異なる部分が多い。ロックコンサート以前



山本 貴裕

を動かす術は、大衆の動員に腐心していた政党の注目のところとなった。現在のアメリカ大統領選挙の際に「党大会(Convention)」の模様をテレビで見ると、あるが、あの異様なまでの盛り上がりは、リバイバルの名残といえる。

さらに言えば、19世紀前半のリバイバルは、21世紀はじめの「大衆大衆化」時代を迎えた私たち大学教員とも無関係ではない。当時のリバイバルの代表格であるチャールズ・フイ

ニ(Charles Finney)は、1835年に出版した本の中で、福音の説教の仕方を説いているが、そこに書かれていることは、大学の講義にもそのままだけは「説教の『内容』」に関しては、「実践的であれ」ポイントとを絞れ、など、説教の「仕方」に関しては、専門用語を避け普通の言葉を用いよ、「自分の話す内容に感情移入せよ」などがそれである。最後にフイニは人生の最後の16年間を大学の学長として過ごしたという事実も付け加えておこ

(教授 異文化の理解A、英語A・II ほか)

女性社長の声まとめ 2 作目出版

サクセスストーリー出版プロジェクト

経産省主催 社会人基礎力育成グランプリ 中四国で優秀賞

学生が取材、編集に取り組み、社長のインタビューをまとめた本を制作するサクセスストーリー出版プロジェクト。その二作目となる「社長の半生 オレ反省『なでしこ社長編』」が、10月27日に出版された。

女性社長の熱いメッセージを集めた今回の本には、日本電機工業株式会社の伊藤麻美氏、株式会社ナビの福井泰代氏ら10名が登場。転機や苦悩など、これまでの人生を語るとともに、学生に向けてメッセージを送っている。事業で抱えた1億3千万円の借金を、アルバイトを掛け持ちして8年で完済した話など、勇気と元気をもらえるエピソードが満載だ。

今回、女性社長に絞った



松江南高校出身は、次のように語った。

「広島にゆかりのある企業を大幅に超える時間を費

理由について、プロジェクトリーダーの江角遼馬さん（経済学科3年・島根県）は、

「僕たちにとっても印象的でした。女性の活躍が目立つ今の時代、女性社長の言葉をもとめた本は、読者の皆さまにも興味を持っていただけるのではないかと考えました。内容については、本学の学生にアンケートを行い、その結果をふまえて、誰に取材するのか、どんな話を引き出すのかを決めていったという。制作期間は2年半。予定を大幅に超える時間を費

また、同プロジェクトは12月6日に行われた、大学教育を通して学生が社会人として求められる能力をどう高めるかを競う「経済産業省主催『社会人基礎力育成グランプリ2011』」の中国・四国地区予選大会から優秀賞に選ばれた。翌年3月9日に東京都内で開催される決勝大会に出場する予定だ。



小学校で読み聞かせをする西川さん

カンボジア国際交流プロジェクトは、教育を受ける機会に恵まれないカンボジアの子供たちに、オランダの学習用副読本をプレゼントすることを目的として

「産業では医者やパイロットなど主な職業を紹介。経済では戦後から現在にいたる景気の動向や、経済に関連する政治について解説した。『教育』では、日本本小学校の様子や総合教育について説明し、『生活』では、伝統行事や遊び、流行の変遷を紹介した。その第一稿を持って今年3月にカンボジアに渡航。2つの小学校で計



現地の大学生に意見を聞くメンバー

200名の小学生に原稿の読み聞かせを行った。また、カンボジア大学をはじめ4つの大学の学生に原稿を読んでもらい、意見を聞いた。

プロジェクトリーダーの西川友望さん（ビジネス情報学科3年・広島県・広島県立高等学校出身）は「子どもたちが学生の感想の多く、内容が難しく感じられるという声でした」と

現地の反応を振り返った。例えば、「内閣」といふ言葉がは理解できなかったという。また、現地の大学生からはイメージしづらいように写真を増やして、真実を増やして、トピックスをもつた。帰国後、すぐに修正に着手。難しいと思われ、言葉を変えたり、説明を加えたりした。また、写真や図を増やすほか、各テーマの最後に内容に即した問題を設けて、復習できるように工夫した。

私のゼミでは、流通や企業マーケティング活動について取り組む、大学で得たアカデミックの知識を実社会に応用できる能力の育成を目指している。今年、「次世代の乗り物」開発をテーマとした。ゼミ生は、開発チームごとに乗り物の、意外なユーザー（ターゲット）をまず想定した。そして、「想定したターゲットに買ってもらえる乗り物とは何か?」「どのような価格で、どんな販売ルート（流通チャネル）を設定すべきか?」を議論した。最後に、開発チームごとにモックアップ（外見を实物そっくりにした模型）を製作したうえで、それを交えて開発製品と販売計画をプレゼンテーションし、その



「アカデミックと実社会の橋渡しとして」

ではと思っている。あくまで、実際の企業（自動車メーカー、機械メーカー、フードサービスなど）への訪問を行い、見

初めに祇園町商工会による「祇園商工フェスティバル」と同時開催、隣接された祇園商工会において開会式と閉会式が合同で行われた。

当日はいくくの雨模様にも関わらず、子どもから高齢の方まで約1500名が来場。屋外ステージで行われる予定だった一部のイベントが中止になったが、多彩な催しに会場は大いに沸いた。

興動館では「宝探し」を開催。子どもたちが地図に書かれた暗号を手がかりに宝物を探した。毎年恒例のおけけ屋敷でも、子ども

とは比べるべくもない。しかし、企業が普段行っている活動（マーケティング）を意識し、社会に有用な商品やサービスを生み出すことを目指す。消費者に行き届くよう販売ルート（ターゲット）を考えた。これは念願の初勝利を挙げた。これは谷間和真君、山崎平一郎君、齊藤尚樹君、松田康平君、野村経典君が自発的にリーダーシップをとり、練習や試合、ミーティング等においてゼミをまとめてくれたからであった。ゼミ生はそれぞれ、自身の得意分野を活かし、ゼミを盛り上げており、彼らの姿勢に私も多くを学んでいる。学生と教員が互いに刺激し合える貴重な場として、これからも学生とともにゼミ活動に取り組んでいきたいと考えている。

（准教授・中・四国地域特別講義流通・サービス製造・産業構造論 広島地域ものづくり事情 国内インタナショナル ほか）

第5回 祇園・興動祭開催 多彩な催し 笑顔いっぱい



興動祭のイベント（わなげ）の様子

10月31日、本学の興動館で「祇園・興動祭 笑顔いっぱい」が開催された。興動館プロジェクトメンバーの有志が中心となり、地域の人々とも一緒に開催するこのイベントは、今年で5回目。今回

初めて祇園町商工会による「祇園商工フェスティバル」と同時開催、隣接された祇園商工会において開会式と閉会式が合同で行われた。

当日はいくくの雨模様にも関わらず、子どもから高齢の方まで約1500名が来場。屋外ステージで行われる予定だった一部のイベントが中止になったが、多彩な催しに会場は大いに沸いた。

興動館では「宝探し」を開催。子どもたちが地図に書かれた暗号を手がかりに宝物を探した。毎年恒例のおけけ屋敷でも、子ども

ちの賑やかな声が響いた。3階の会場では、地元ゆかりの「たけやま」が主役のアクション劇を開催。立ち見が出るほどの盛況だった。このほか、茶道によるお茶会やフリーマーケットなどが行われた。

一方、屋外ステージ前の広場には山型のトランポリン「ふわふわドーム」を設置。子どもたちが跳んだり、滑ったりして楽しんだ。また、本学の音楽サークルや有志のゼミナール、興動館プロジェクトが模擬店を企画。フライドポ

テトやたこ焼き、焼き鳥といった食べ物のほか、ヨーヨーすくいや射的、輪投げなど昔ながらの遊びが楽しめる店が並んだ。

午後からは屋外ステージでビンゴ大会を開催。小雨のなか、広場が一杯になるほどの人が集まり、大変な盛り上がりを見せた。

実行委員長を務めた藤井崇成さん（経済学科4年・山口県・徳山高等学校出身）は、「雨でスケジュールを変更することも多かったですが、無事やり遂げることができてよかった。仲間や、私たちを支えてくれた地域の方々、興動館の職員に感謝の気持ちでいっぱい。そして、何よりも、参加した方が笑顔でイベントを楽しんでいることが一番うれしかったです」と語った。

社会に触れ 自分磨いた夏

インターンシップ体験談

本学では、国内や海外の企業、公共機関で就業体験に取り組みインターンシッププログラムを設けている。いずれも夏期休暇中の研修に加え、通年の事前・事後学習で構成される。社会の現場ではどのような力が求められるのか、働くとはどういうことなのか。今年度も学生たちは、社会の現実に触れ、自分を磨こうと、研修にチャレンジ。支援企業の絶大な協力により、充実した夏を過ごした。ここでは、5名の学生の体験談を紹介する。



研修で学んだ体験を報告するインターンシップ報告会

企業インターンシップⅡ(海外)

研修先 株式会社日本旅行
シドニー支店



国際地域経済学科3年
中田 優子さん
鳥取県/吉賀高校出身

現場で求められる チャレンジ精神

昨年、株式会社日本旅行
Tiss 広島支店のイン
ターンシップに参加し、旅
行業に対する関心が高ま
りました。また、「海外で働
いてみたい」という希望を
持っており、今年の夏海

外でのインターンシップに
参加しました。
研修で特に印象深かった
のは、ツアーの企画にチャ
レンジしたこと。日本
企業向けにシドニーでの3
泊5日の社員旅行を企画し
たのですが、私自身、シド
ニーに関する知識がほとん
どなく、最初はどのツアー
を組み立てようかと、わ
かりませんでした。しかし、
自分なりのアイデアを盛り
こんでツアーを提案したと
ころ、社員の方から評価し
ていただき、達成感を得る
ことができました。

研修中、実感したのは、
チャレンジすることの大切
さです。業務を体験する中
で「あれをやってみよう」
「こうしたお客様が喜ぶ
んじゃないか」と自分で考
え、そして実行することが
大切だと感じ、仕事に
おいては、こうした積極
的なチャレンジ精神が求め
られることを学びました。ま
だ、1ヵ月にわたる海外で



日本旅行シドニー支店で研修中の中田さん

「こうしたらお客様が喜ぶ
んじゃないか」と自分で考
え、そして実行することが
大切だと感じ、仕事に
おいては、こうした積極
的なチャレンジ精神が求め
られることを学びました。ま
だ、1ヵ月にわたる海外で

の生活は毎日が刺激的。異
文化に触れるなかで、視野
を広げることができたと思
います。
これからいよいよ就職活
動が始まります。研修での
経験を活かして、自分が納
め得る道を開拓したいと
向かっています。

研修先では、営業活動や
修理の仕事に同行させてい
ただきました。毎日、研
修後にその日の感想を発表
する時間があります。発表
は、例えば3分間といっ
つと向かっています。

旅行が好きだったので漠
然と旅行関係の仕事がした
いと思ってきましたが、大
学生生活のなかで就職につ
いて考える機会が増えるにつ
れ、自分が本当にやりたい
仕事が見つかるようになって

持つことの重要性を学びま
した。
このインターンシップに
参加して、初めて知ること
や想像とは異なっていたこ
と、また、消防と関連する
仕事についてなど、新しい
発見が数多くあり、視野が
広がりました。そして、消
防士になりたいという思い
が一層強くなりました。

企業インターンシップ(海外)

研修先 五洋建設株式会社
シンガポール支店



国際地域経済学科3年
前本 将太さん
愛媛県/松山聖陵高校出身

就職活動に対する 不安が解消

「会社って、どんなところ
だろう?」「海外に出て、
異文化に触れてみたい」
そんな思いで、シンガポ
ールでのインターンシップ
に参加しました。

研修先は、現地で大規模
な建築物を手がけている企
業です。約4週間のイン
ターンシップでは、主に経
理・企業会計におけるデー
タ入力作業を経験し、会計
業務の一端を知ることがで
きました。また、建設中の
建物を見学する機会もあり
ました。
研修中、もっとも大変

だったのは、現地スタッフ
とのコミュニケーション
です。仕事の指
示や説明が英
語で行われた
ため、語学力
に自信がない
私は、相手の
話を理解する
のに苦労しま
した。改めて、
英語を身につ
けることの重
要性を感じた
経験でした。

一方で、会
社の雰囲気を感じ、海
外で働くことをイメージで
きるようになったのは大き
な収穫です。わずかな期間
ですが、海外で生活した経
験は視野を広げることにつ
ながったと思います。
インターンシップに参加
するまでは、就職活動に対
して漠然とした不安を抱い
ていたのですが、帰国後は
それが解消され、前向きに
チャレンジしていこうとい
う思いが強くなりました。

今回の経験を活かしてシン
ガポールにある日本企業で
働いてみたいと考えていま
す。

研修では、物資の運搬や
放水、高所でのロープ渡り
といった、実際の消防隊員
の方が行っている訓練を体
験しました。火事が発生し
た現場を想定した訓練で
は、防護服を着用して活動
したのですが、装備が重い



五洋建設シンガポール支店の方と前本さん(左から2番目)

国内インターンシップ

研修先 広島市消防局



経営学科3年
天野 航志さん
広島県/三次高校出身

憧れに近づいた 消防士体験

消防士という職業に憧れ
を感じ始めたのは中学生の
ころです。当時も、三次市
消防局で職場体験をしたの
ですが、その際に、消防士
の仕事や役割が自分の考え
ていた以上に幅広いことを
知り、興味を持つようにな
りました。そして今回、広
島市消防局でのインターン
シップが初めて行われると
いうことで、消防士の仕事
を体験できるチャンスだと
思い、参加することを決め
ました。

研修では、物資の運搬や
放水、高所でのロープ渡り
といった、実際の消防隊員
の方が行っている訓練を体
験しました。火事が発生し
た現場を想定した訓練で
は、防護服を着用して活動
したのですが、装備が重い

上には、マスクを被ると視界
が狭くなり、被災者を見つ
けるのに苦労しました。一
分一秒を争う火事現場での
作業は、危険を伴い、非常
に難しいのだと身をもっ
て感じることもできた貴重
な経験でした。また、研修
を通して、何が危険であ
るか、どこに非常口がある
のかといった危機意識を常
に



広島南消防署水上出張所ではホースを持って訓練を体験する天野さん(右)

国内インターンシップ

研修先 株式会社日本旅行



国際地域経済学科2年
大上 祐花さん
広島県/安佐北高校出身

やりたいことを 見つけるために

旅行が好きだったので漠
然と旅行関係の仕事がした
いと思ってきましたが、大
学生生活のなかで就職につ
いて考える機会が増えるにつ
れ、自分が本当にやりたい
仕事が見つかるようになって

持つことの重要性を学びま
した。
このインターンシップに
参加して、初めて知ること
や想像とは異なっていたこ
と、また、消防と関連する
仕事についてなど、新しい
発見が数多くあり、視野が
広がりました。そして、消
防士になりたいという思い
が一層強くなりました。

研修では、物資の運搬や
放水、高所でのロープ渡り
といった、実際の消防隊員
の方が行っている訓練を体
験しました。火事が発生し
た現場を想定した訓練で
は、防護服を着用して活動
したのですが、装備が重い

上には、マスクを被ると視界
が狭くなり、被災者を見つ
けるのに苦労しました。一
分一秒を争う火事現場での
作業は、危険を伴い、非常
に難しいのだと身をもっ
て感じることもできた貴重
な経験でした。また、研修
を通して、何が危険であ
るか、どこに非常口がある
のかといった危機意識を常
に

上には、マスクを被ると視界
が狭くなり、被災者を見つ
けるのに苦労しました。一
分一秒を争う火事現場での
作業は、危険を伴い、非常
に難しいのだと身をもっ
て感じることもできた貴重
な経験でした。また、研修
を通して、何が危険であ
るか、どこに非常口がある
のかといった危機意識を常
に

異文化交流

国際理解力を身に付ける

私の留学体験記

留学先／韓国 大邱大学校

韓国語力生かせる職に



経済学科3年 河上 洋平さん
山口県・光高高校出身

1年次に韓国人の友人ができたことがきっかけで韓国語に関心を持つようになり、それから少しずつ韓国語を学び、今回、韓国の大邱大学校に2月28日から7月30日の5ヵ月間、留学しました。

現地の授業では、韓国語はもちろん韓国の行事や食事も、マナーなどを学ぶほか、他国からの留学生の考え方や、その国の文化、社会なども知ることができました。また、授業の一環として体育大会に参加したほか、文化の授業では世界遺産に登録されている仏国寺や、日本の京都にある映画村のような施設を訪問しました。大学祭に参加し、同じ日本から留学している仲間と交流しました。

2、3週間たったころから、授業が楽しくなってきました。また将来について、韓国語を活かせる仕事に就きたいという気持ちも強くなってきました。今回の留学を通して、自分



留学先の大邱大学校でできた仲間と河上さん（右下）

「意見を伝える力」培う



国際地域経済学科3年 山根 健三さん
広島県・広島県立高校出身

ヨーロッパの人々の暮らしに興味があり、8月から9月にかけての約3週間、フランス留学のプログラムに参加しました。留学当初はフランス語での会話をひと苦労。手帳に携帯できる電子辞書を持っていたにもかかわらず、言い



エッフェル塔を背景に山根さん（右）

た。また、山近氏の知人の早朝の散歩に同行することもありました。た。また、山近氏の知人の早朝の散歩に同行することもありました。た。また、山近氏の知人の早朝の散歩に同行することもありました。

社会勉強のため社長に同行

3年松下さん 多くの人と出会い成長



メディアビジネス学科3年 松下 綾香さん
広島県・呉商業高校出身

「かばん持ちなんて、もちろん初めての体験。何が起るのか、ワクワクした気持ちで臨みました。」松下さんが「かばん持ち」を体験したのは、9月10日、12日。場所は広島ではなく東京だった。9日の夕方、広島県・呉商業高校出身の代表取締役兼CEOを務める山近幸三氏の「かばん持ち」を体験した。

教員免許状更新講習実施

昨年度に引き続き



教員免許状更新講習の様子

本学の松下綾香さん（メディアビジネス学科3年）が、広島県・呉商業高校出身の代表取締役兼CEOを務める山近幸三氏の「かばん持ち」を体験した。松下さんは、山近社長のかばん持ちを経験した学生の方から、社長のお人柄や現場でやるべきこと、それぞれの失敗談など、いろいろとアドバイスをもらっていたのですが、実際は想像していたよりもっと刺激的でした。松下さんがかばん持ちを体験した3日間、山近氏は企業やセミナーでの講演などの仕事をこなした。松下さんは現場に同行し、それ

被爆ピアノとともにNYへ

3年鈴木さんら 公演を記録 卒業研究に



被爆ピアノ演奏の前矢川氏（中）と鈴木さん（右）中西さん（左）

米国同時多発テロから9年目を迎えた9月11日、広島で原爆の被害を受けた「被爆ピアノ」のコンサートがニューヨークで進行。その現場に本学の鈴木崇義さん（メディアビジネス学科3年・広島県・県立広島商業高校出身）らが立ち会った。

アノの音色を聞きながら涙を浮かべている姿を見て、平和への願いは僕たちと同じなんだと実感しました。と鈴木さんは語る。「被爆ピアノ」と鈴木さんの出会いは、このコンサートから9ヵ月前のこと。本学キャンパスから放送局「ハムスター」のスタッフを務めている鈴木さんが、番組の取材でその存在を知った。

「ピアノ調律師である矢川光則さんが、平和を訴える被爆ピアノコンサートを開催していることを知り、ぜひ自分たちもお手伝いをしたいと考えました。」鈴木さんは他の学生とともに企画し、3月に興動館カフェ、5月にイオンモール広島呉、7月に呉の大和ミュージアムでコンサートを開催。各会場ではニューヨーク公演実現のための募金を呼びかけた。活動中、矢川さんらと一緒にニューヨークに行かないかと誘われ、迷うことなく同行することを決めたという。

ニューヨークでの被爆ピアノコンサートは、9月10・13日に教会や日本人学校などで計5回開催された。11日夜は、グラウンド・ゼロのそばにあるハドソン川沿いの広場で、数千人が集まった。広島在住のピアノist、向井理佐美さんははじめの演奏が被爆ピアノを演奏した。

様に本学の教職専門科目担当の教員が、選択領域（商業）は経営学科の教員がそれぞれ務め、その高い専門性と最新の知識は、受講者の資質能力の向上に大いに貢献できたものと確信している。

公務員試験 多彩に支援

キャリアセンター 合宿や課外講座実施

長引く不況で就職戦線の厳しさが増す中、学生の関心が高まっている。本学のキャリアセンターでは、公務員志望の学生をサポートする多様なプログラムを設けており、例年、30名前後の学生が夢を実現している。ここ数年の志望者増加に伴い、サポートにもより一層力を注いでいる。

今年度、キャリアセンターが実施する公務員試験サポートプログラムでは、公務員ガイダンスを3回実施。4月に行われた公務員ガイダンス（初級編）では、公務員の種類やそれぞれの仕事内容、公務員試験の概要や試験対策のための学習方法をレクチャーした。

11月に行われた2回目のガイダンスでは、具体的な試験対策を紹介。試験問題の傾向とポイントを詳細にわかりやすく解説した。また、内定を勝ち取った学生が合格体験談を語った。12月のガイダンスでは、現場の声を紹介。国、県、市、警察、消防の人事担当者を本学に招き、試験概要や仕事内容、求める人材像などについて紹介していただいた。

5月と11月には公務員試験対策模擬テストを実施。試験のタイプは2種類で、一つは国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級レベルの教養科目と専門科目。もう一つは地方公務員初級警察官、消防員レベルの教養科目。学生が進路目標に応じて選択できるようなっている。本番に近い状態で受験できるように開始時刻は実際の試験と同様に行われた。2月には安芸高田市にある本学の研修センターで、3泊4日の公務員試験対策合宿を行う。参加者は朝から晩まで勉強漬け。一コマ90分の講義を12回受けるほか、二次試験で課される面接や論文をクリアするためのノウハウを実践を通して身に付ける。講師には、公務員受験に精通した外部の専門家を招聘。「ポイントを押さえた授業でわかりやすい」「教養が上手く、やる気が増した」と参加した学生からの評判は非常に高い。

一方、課外講座として公務員試験対策講座を開講。目指す学生を対象に教養科目と専門科目の基礎を学ぶ講座を設けるほか、正課の公務員試験関係科目と連携した講座では、教養科目専門科目の応用レベルの内容を指導している。これらのプログラムには1～3年生の学生が参加でき、3年生にとっては就職活動に直結する内容であり、1～2年生にとっては将来に対する意識の向上に役立てられるものだ。

このほかキャリアセンターでは、公務員合格のための手引き「何が何でも公務員」を制作し、公務員に関心のある学生や保護者に配布。また、公務員・国家（地方上級）試験合格者に対して奨励金を進呈する制度を設け、学生のやる気を後押ししている。

さらに、キャリアセンター内に公務員試験コーナーを設け、説明会や採用に関する情報を提供。公務員試験に合格した学生から寄贈された試験対策本も置かれている。もちろん、公務員を志望する学生からの相談にスタッフが丁寧にアドバイスを送るなど、細かくサポートしている。



本学で3回実施している公務員ガイダンス



安芸高田市の研修センターで行っている公務員試験対策合宿

目と専門科目の基礎を学ぶ講座を設けるほか、正課の公務員試験関係科目と連携した講座では、教養科目専門科目の応用レベルの内容を指導している。これらのプログラムには1～3年生の学生が参加でき、3年生にとっては就職活動に直結する内容であり、1～2年生にとっては将来に対する意識の向上に役立てられるものだ。

このほかキャリアセンターでは、公務員合格のための手引き「何が何でも公務員」を制作し、公務員に関心のある学生や保護者に配布。また、公務員・国家（地方上級）試験合格者に対して奨励金を進呈する制度を設け、学生のやる気を後押ししている。

さらに、キャリアセンター内に公務員試験コーナーを設け、説明会や採用に関する情報を提供。公務員試験に合格した学生から寄贈された試験対策本も置かれている。もちろん、公務員を志望する学生からの相談にスタッフが丁寧にアドバイスを送るなど、細かくサポートしている。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

公務員試験合格者

山口県南門職員採用試験合格（行政事務大学卒程度）
先生の熱心な指導に支えられて



山口県南門職員採用試験合格（行政事務大学卒程度）
山口県 新南陽高校出身
メディカルビジネス学科4年 岩本 佳子さん

就職について考え始めたのは2年次の終わりで、自分にとっての仕事を知りたくて適性職業テストを受けたところ、公務員や公務員という結果が出ました。これをふまえてゼミの先生やキャリアセンターのスタッフの方、両親と相談し、地方公務員を目指すことにしました。

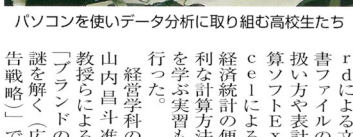
就職について考え始めたのは2年次の終わりで、自分にとっての仕事を知りたくて適性職業テストを受けたところ、公務員や公務員という結果が出ました。これをふまえてゼミの先生やキャリアセンターのスタッフの方、両親と相談し、地方公務員を目指すことにしました。

高校生が本学の学び体験

「高大連携公開講座」に92人

夏期休暇中に、中国地方の各大学で高大連携公開講座が開講された。本学においては8月17日から20日にかけて5つの講座を開講し、広島県内の高等学校に通う生徒を招いた。

この取り組みは、高校生に大学での学びに直接触れる機会を提供し、進路意識の向上を図ることが狙い。主催するのは、中国地方の大学・短期大学・教育団体などで構成される教育ネットワーク「中国で、3分の2以上出席した高校生に対しては修了証を発行して、高専学校によって単位を認定している。本学で開講した講座は次のとおり。



パソコンを使いデータ分析に取り組む高校生たち

経済学では、中野安雄教授と渡辺昌彦教授が「経済のしくみ」を担当。家計や企業の役割について考察し、現代の多様な産業に通う生徒を招いた。

また、お金の種類や役割、商品やサービスの代金の様々な支払い方法について講義。加えて、パソコン教室で文章作成ソフト Word による文書ファイルの扱い方や表計算ソフト Excel による経済統計の便利な計算方法などを学ぶ実習も行った。

経営学科の山内昌斗准教授による「ブランドの謎を解く」で、ブランドの歴史やマーケティングを学ぶ。また、本学で開講された5つの講座には総計92名の高校生が参加した。講座終了後、参加者からは「大学の授業だから難しいと思っていたが、先生が丁寧にわかりやすく教えてくれたので、スムーズに理解できました」「講義は興味深かったです。大学の施設の充実ぶりに驚きました。ぜひこういう環境で勉強したい」といった感想が寄せられた。

データの分析に取り組んだ。メディアビジネス学科の松井一洋教授による「ラジオ番組を作ろう」という実践メディア学入門では、まずメディアについてレクチャー。メディアの全体像や歴史、ビジネスや政治、社会との関わりについて解説した。また、本学にあるスタジオやラジオブースで、高校生がラジオ番組の制作にチャレンジ。完成した番組は、本学のコミュニティFMで実際にオンエアーした。



ラジオ番組制作に取り組む高校生たち



警視庁警察官採用試験合格（大学卒程度）
経済学科4年 森下 正大さん
広島県・可部高校出身

警視庁警察官採用試験合格（大学卒程度）
森下 正大さん
広島県・可部高校出身

警察官になるのが子どもの頃から夢だった。警視庁を志望した理由の一つは、東京で働きたいという思いがあったからだ。日

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

「記憶するのはなく理解しよう」といった先生のアドバイスも役立ちました。さらに、これは受験勉強ではないのですが、平成19年10月から平成22年4月まで、新聞のコラムを80字に要約し、先生に添削していただくことを続けました。これによって読解力や文章力といった基礎的な力を磨くことができました。そして、1年半の間に、指導してくださったゼミの先生方には、感謝の気持ちをいっぱい伝えています。

■大学院 博士課程前期課程
【一般選抜】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(研究者養成コース・経済学専修コース)10名 (外国人学生・社会人特別選抜を含む)
出願期間	Ⅱ期=平成23年1月25日(火)～2月8日(火) 締切日消印有効 Ⅲ期=平成23年2月16日(水)・17日(木)
試験科目	書類選考(調査書等) 外国語科目:英語、独語、仏語の3か国語のうちから出願の際に登録した1か国語を選択 ※特筆の持ち込みを認める(電子辞書も可) 専門科目:下表の7部門から出願の際登録した2科目を選択 □口試試験 書類選考(調査書等) 外国語科目:英語 専門科目:下表の7部門から試験場において1科目を選択 □口試試験 理論経済学部門、経済史部門、経済政策部門、財政学・金融経済部門、統計学部門、経営学部門、地域研究部門の7部門
合格発表	Ⅱ期=平成23年2月22日(火)午前10時

【社会人特別選抜】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [経済学専修コース]若干名
出願期間	Ⅱ期=平成23年1月25日(火)～2月8日(火) 締切日消印有効
試験日	Ⅱ期=平成23年2月17日(木)
試験科目	書類選考(調査書等) □口試試験
合格発表	Ⅱ期=平成23年2月22日(火)午前10時

【学内特別選抜】 学部との5年プログラム

募集人員	3名程度(外国人留学生を含む)
出願資格	1.平成24年3月末に本学経済学部を優秀な成績で卒業見込みの者、同年4月に本学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(修士)経済学専修コースに進学を希望する者 2.3年次前期までの成績が所属学部の上位20%以内に入っていること(成績の順位は9月末現在のものとす)
出願期間	平成23年1月11日(火)～1月28日(金)
選考試験	平成23年2月17日(木)・18日(金)
提出書類	博士課程前期課程(修士)経済学専修コース履修要修願書・3年次前期までの成績証明書・学部運営担当教員の推薦書・将来計画書
選考方法	提出書類及び3年次後期までの成績、筆算試験、□口試試験の結果を総合して判定し合否を決定
合格発表	平成23年2月22日(火)

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(研究者養成コース)3名(外国人留学生を含む)
出願期間	平成23年1月25日(火)～2月8日(火) 締切日消印有効
試験日	平成23年2月16日(水)
試験科目	書類選考(調査書等) 第1外国語:英語 ※特筆の持ち込みを認める(電子辞書も可) 第2外国語:英語、独語、仏語の3か国語のうちから1か国語を選択(出願の際に登録) ※特筆の持ち込みを認める(電子辞書も可) □口試試験:修士論文・研究計画を中心に面接
合格発表	平成23年2月22日(火)午前10時

■学部 資格スカラシップ推薦入学試験(2期)

募集人員	経済学部/経済学科・経営学科・ビジネス情報学科・メディアビジネス学科 若干名
出願期間	平成23年1月4日(火)～1月26日(水) 締切日消印有効
試験日	平成23年2月6日(日)
合格発表	平成23年2月15日(火)午後3時
試験科目	面接

※資格スカラシップ推薦入学試験を希望する者は、出願前に入試広報室(082-871-1313)までお問い合わせください。

■学部 一般入学試験(1期)

募集人員	経済学部/経済学科105名・経営学科100名・ビジネス情報学科25名・メディアビジネス学科10名・スポーツ経営学科25名
出願期間	平成23年1月4日(火)～1月26日(水) 締切日消印有効
試験日	平成23年2月6日(日) 平成23年2月7日(月) ※試験は自由選択・複数学科併願制
試験科目	英語=英語1・英語Ⅱ …… 150点 選択科目=国語総合・現代文 …… 150点(国語総合は古文、漢文を除く) 選択科目=日本史B・世界史B・地歴B・政治・経済・簿記・数学I・数学A(集合と論理、場合の数と確率)のうち1科目選択 …… 100点
合格発表	平成23年2月15日(火)午後3時

※試験日自由選択・複数学科併願制 - 試験日を自由に選ぶことができ、2日間で同一学科を受験することも可能です。
※商業学科等優先選抜枠を設置。(経済学科10名、経営学科10名、ビジネス情報学科5名、メディアビジネス学科5名、スポーツ経営学科5名)

■学部 一般入学試験(2期)

募集人員	経済学部/経済学科20名・経営学科20名・ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名・スポーツ経営学科5名
出願期間	平成23年2月21日(月)～3月1日(火) 締切日消印有効
試験日	平成23年3月8日(火) ※複数学科併願制
試験科目	英語=英語1・英語Ⅱ …… 100点 選択科目=国語総合・現代文(国語総合は古文、漢文を除く)、数学I・数学A(集合と論理、場合の数と確率)のうち1科目選択 …… 100点
合格発表	平成23年3月10日(木)午後3時

※複数学科併願制 - 1回の受験で2学科以上出願することが可能です。

■学部 入試センター入学試験(1期・2期)

募集人員	経済学部/経済学科40名・経営学科40名・ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名
1期 出願期間	平成23年1月4日(火)～1月28日(金) 締切日消印有効
合格発表	平成23年2月15日(火)午後3時
2期 出願期間	平成23年2月21日(月)～3月1日(火) 締切日消印有効
合格発表	平成23年3月10日(木)午後3時
出願資格	①英語はリスニングを含み、配点250点を200点に換算する ②配点が100点の科目は、200点に換算する (本学独自の選考試験は行わない)

※複数学科併願制 - 1回の受験で2学科以上出願することが可能です。

■学部 社会人入学試験(2期)

募集人員	経済学部/経済学科・経営学科・ビジネス情報学科・メディアビジネス学科 若干名
出願期間	平成23年2月21日(月)～3月1日(火) 締切日消印有効
試験日	平成23年3月8日(火)
合格発表	平成23年3月10日(木)午後3時
試験科目	小論文、面接

※社会人入学試験を希望する者は、出願前に入試広報室(082-871-1313)までお問い合わせください。

■学部 外国人留学生・公募制推薦入学試験

募集人員	経済学部/経済学科・経営学科・ビジネス情報学科・メディアビジネス学科 6名
出願期間	平成22年12月1日(水)～12月24日(金) 締切日消印有効
試験日	平成23年1月8日(土)
試験科目	面接
合格発表	平成23年1月13日(木)午後5時

※公募制推薦入試:複数学科併願制 - 1回の受験で2学科以上出願することが可能です。

■学部 外国人留学生入学試験(Ⅰ期・Ⅱ期)

募集人員	Ⅰ・Ⅱ期 経済学部/経済学科・経営学科・ビジネス情報学科・メディアビジネス学科 若干名
出願期間	Ⅰ期=平成23年1月4日(火)～1月27日(木) 締切日消印有効 Ⅱ期=平成23年2月1日(火)～2月23日(木) 締切日消印有効
試験日	Ⅰ期=平成23年2月8日(火)・Ⅱ期=平成22年3月1日(火)
試験科目	面接
合格発表	Ⅰ期=平成23年2月15日(火)午後3時 Ⅱ期=平成23年3月3日(木)午後5時

※複数学科併願制 - 1回の受験で2学科以上出願することが可能です。

平成二十三年

学生募集要項

学科及び大学院の募集要項を配付しています。
お申込みは、記されたハガキや電話を配付しています。
※スポーツ経営学科新設に伴い、募集人員の内訳を変更しています。

平成23年度推薦入試結果報告

平成23年度推薦入学試験を11月17日に実施した。また、9月には、AO入学試験を実施した。以下の表を入試結果として報告する。

なお、来年度春に開設のスポーツ経営学科を対象とした初めての入学試験で、この推薦入学試験から実施した。そのうち一般公募制推薦入学試験では、募集人員10名のところ、59名の受験生が集まり、18名が合格、競争率は3.3倍と、好調な滑り出しとなった。

平成23年度AO入学試験結果

入学試験	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
A O	20	47	47	9	5.2

平成23年度推薦入学試験結果

入学試験	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
スポーツ	40	94	94	70	1.3
特定資格	15	17	17	17	1.0
文化・社会	15	6	6	5	1.2
海外経験	5	0	0	0	0.0
合計	75	117	117	92	1.3
経済学科	55	182	182	79	2.3
経営学科	50	166	166	100	1.7
ビジネス情報学科	10	84	84	52	1.6
メディアビジネス学科	10	37	37	27	1.4
スポーツ経営学科	10	59	59	18	3.3
合計	135	528	528	276	1.9

担任科目 英語AⅡ・BⅡ

新任教員 平成22年9月1日付

教育職 麻苗 徳子

平成22年9月25日午後7時に逝去された74歳。平成11年4月本学教授に就任。英語を担当。平成18年3月31日に退任され本学の名誉教授となる。

博士号取得

平成22年9月30日、経営学科の片岡幸雄教授が博士(創造都市)の学位を取得した。

片岡 幸雄 教授

「中国の対外経済論と戦略政策」

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第33巻 第2号 (2010年9月)

【論 説】

中国の計画的商品経済体制の下における
対外貿易計画管理体系(1984～87年) (I) 片岡 幸雄(教授)

最適制御問題における保存則の新しい導出法とその新古典派的経済成長理論への応用 三村 文武(教授)
藤原 富美代(元岡山大学学術副
選野 隆之(岡山大学名誉教授)

Digital HomeとMIDからの警鐘 山本 雅昭(教授)

スポーツイベントにおけるビジネスモデルの特性
—スポンサー・バリューの創出— 永田 靖(准教授)

ステークホルダー論におけるマスメディアの位置づけ 椋田 智子(講師)

【研究集会報告】

インドネシアにおける地域間所得格差について 貫名 貴洋(講師)

◆広島経済大学研究論集 第33巻 第2号 (2010年9月)

【論 説】

広島駅周辺地域におけるタンポポの分布 根平 邦人(名誉教授)

高等学校における「簿記」の導入指導に関する研究 朗川 正雄(准教授)

【翻 訳】

Talking with the Senior Practitioners of the Martial Arts:
Hiroshi Kinjo (『大先輩に聞く』から(金蔵 裕氏) マーク・タンコシチ(講師)

【研究集会報告】

生涯スポーツ —だれもがたのしむ運動・スポーツ— 松本 耕二(准教授)

学生の皆さんへ

【編集】の最新号は、1号紙(文庫・図鑑・メディア情報センター等に置いてあります)で、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の方は、地域経済研究所まで来てください。

知の系譜 No.22

本学図書館 所蔵書紹介コーナー

本学では、ドイツの宗教改革者マルティン・ルターが16世紀前半、ドイツ語に翻訳した新約聖書の初版本を入手しました。この初版本は世界に39点しかなく、初めて日本での入手となりました。

ルター「ドイツ語新約聖書(9月聖書)」
1522年 ヴィッテンベルク刊

Martin Luther, (354-430) Das neue Testament deutsch.
Wittenberg: [Melchior Lotter for Christian Döring and Lucas Cranach.]

ルターは、ドイツのヴィッテンベルク大学教授で宗教改革者。1517年にドイツで贖宥状(注)が大量に販売されていた事に抗議してヴィッテンベルク城の扉に「95カ条の論議」を張り出した。この論議はラテン語で書かれていたが、すぐにドイツ語に訳されて国内に回わり、宗教改革のうねりはヨーロッパ全土に広まった。ルターは、「信仰は聖書によるべきだ」と主張し、聖職者が読んでいたラテン語の聖書を一般の人が読めるようにとドイツ語に翻訳し本書を刊行した。1522年9月までに刊行を準備していたため、本書は「9月聖書」とも呼ばれている。表紙は、板に空押し模様のついた白豚の皮が半分は貼ってある。巻末の黙示録には、ドイツの画家クラナッハによる全ページ大の木版画21点が挿入されている。初版は5,000部印刷されたが、わずか数週間で売り切れたと言われており、12月には改訂版が刊行されている。ルター聖書は、宗教改革の進展にとって極めて重要な一書であり、全ヨーロッパの自国語聖書刊行に大きな影響を与えたと共に近代ドイツ語の確立に貢献した。(注) (しよくゆうじょう): 16世紀にカトリック教会が発行した罪の償いを軽減する証明書。

広島経済大学 保護者向けメールマガジン (通称: HUE (ヒュー)メル) 好評配信中

本学では、保護者のみなさまに大学や学生生活に関する情報を電子メールで定期的に提供する「広島経済大学保護者向けメールマガジン(通称: HUE (ヒュー)メル)」を配信しております。少しでも本学の取組みや情報を知っていただきたく、月に一度メールで情報をお届けしています。配信を希望される方は、以下の要領でお申し込みください。

【内 容】

- ・今月の行事・先月のNEWS & TOPICS・インフォメーション
- ・クラブ&サークル・HUE知って情報・運動館だより・お知らせ

【配信申し込み方法】

本学 web サイトhttp://www.hue.ac.jp/にアクセス、「保護者の方へ」ページにある「保護者メールマガ」ボタンをクリック。その中にある専用フォームにメールアドレスを入力し送信してください。

広島経済大学 メールマガ 検索

未来の興動人を発掘する受験生応援モバイルサイト「HUEMoba (ヒューモバ)」登録者受付中!

HUEMoba (ヒューモバ)は、未来の興動人となる受験生を応援する参加型携帯サイトです。興動人checkで、オリジナルのAvatarを作り、「広経大クイズ」、「プチ経済学」、「英単語テスト」HUEKEEPER(ゲーム)などのコンテンツを楽しみながら、広経大の最新情報もゲットできます。さらに1日を振り返り、自分が興動人としてコウウド出来たかを診断するゲーム「コウウドジロンド」などの楽しいコンテンツもあります。ぜひ、QRコードにアクセスしてください!ご登録をお待ちしています! (http://huemoba.jp/)